

## 小金色の深い学び

◎児童同士でつながる学び合いの授業

- ◎ふり返り（つけたい力）を意識しためあて・発問の設定
- ◎自分の考えの形成
- ◎他者との交流を通して、考えを広げ、深める。
- ◎自分の考えの更新、変容、新たな疑問などをふり返りにまとめる。

### 1時間の授業 単元を通して

#### 1, めあて・発問

- 逆向き設計のめあて・発問
  - ・どんな力をつけたいのか
  - ・どんなふり返りが書けたらいいのか
- ゴール（ふり返り）を意識する
- ・主発問、切り返しの発問の精選

#### 2, 考えの形成

- 言葉への自覚を高める、言葉の感覚を養うことを意識する。  
(対象と言葉、言葉と言葉の関係など)
- 教材との対話**

#### 3, 話し合い活動

- ペア・グループ・全体交流
- ★**話型・ハンドサイン・司会・相互指名**など  
(学びに向かう力をつけるためのツールとして活用する)
- 児童間の質問・教師の補助発問
- 他者との対話**

#### 4, ふり返り

- 1時間の授業の中での自分の考えの変容についてまとめる。  
(考えの更新, 新たな気づき, 疑問など)
- ★**学びに向かう力**の見取り  
(ふり返りで評価する)
- 自分自身との対話**

#### 小金色の深い学び

- 学びに向かう力の育成
  - ・自らの考え、集団の考えを発展させる言語活動（対話）ができる
  - ・学びの成果が実感できるふり返り、めあてに応じたふり返りが書けている。

### 学びに向かう力の育成するために

- 各学級が「小金色の深い学び」を意識した授業の流れを確立する。
  - ・ふり返り⇒めあてまでを意識した授業づくり、話型・ハンドサインの統一と活用
- 主体的で対話的な授業をめざし、学びに向かう力を育成する
  - ・ペアやグループでの話し合いを適宜取り入れ、伝え合う力をつける
  - ・ふり返りの評価基準（A・B・C）を設定し、児童・教師の評価として学習につなげていく
  - ・コネクトマップを作成し、話し合い活動とふり返りの充実につなげる